



☆ 真 魂 ☆

～真住中学校だより Vol.2～

生徒たちが安心して笑顔で登校でき、地域・保護者のみなさまから信頼される学校をめざします。



2030年問題・10年後の生徒たちに求められる力とは ➡～何を学ぶか～

- ・子供たちの 65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く(キャシー・デビッドソン氏)
 - ・今後 10~20 年程度で、約 47%の仕事が自動化される可能性が高い(マイケル・A・オズボーン氏)
 - ・2030 年までには、週 15 時間程度働けば済むようになる(ジョン・メイナード・ケインズ氏)
- ◆子供たちが成人して社会で活躍する頃には、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会や職業の在り方そのものも大きく変化する可能性、こうした厳しい挑戦の時代を乗り越え、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力が必要である。(文部科学省資料)

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 ➡～どのように学ぶか～

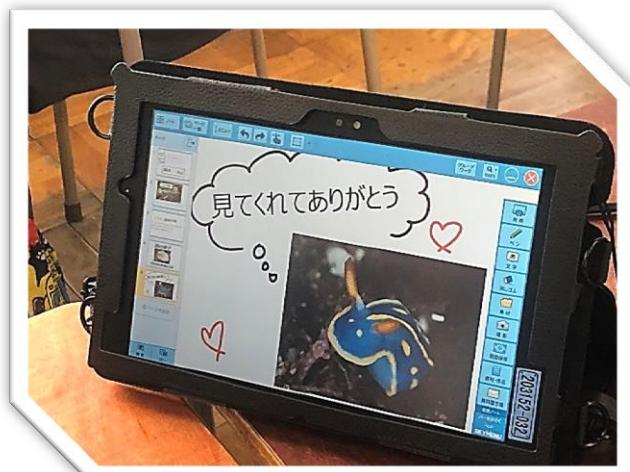
大阪市の施策として「主体的・対話的で深い学び」の推進プロジェクト事業の研究指定校として、12月3日(火)午後の公開授業に向けて、1年社会科・2年英語科で授業研究に積極的に取り組んでいるところです。

※写真は2年英語(ペア学習)9/17



※写真は1年社会(グループ学習)9/18

- 6月から毎月1回、教育委員会の担当者と授業を研究し、9月で3回目です。その内容は、
- ・授業で「何を学ぶのか」を明確にするために、ICT機器を使用し、教員のテンポのいいトークで、学習する内容を生徒たちに伝え、主体的な学びを引き起こし、教員が授業の課題を与えます。
 - ・「どのように学ぶか」一斉講義型の授業だけでなく、生徒がペアやグループになり、授業の課題を解決するために、生徒同士で相談やインターネット調べ学習などで、解決策をまとめます。右写真のようにまとめた解決策を発表し、グループ同士で意見を交換するなどで、学びを深めています。
 - ・理科では、SKY(株)の月刊紙2月号で、これまでの授業の実践事例を掲載するために、インストラクターと一緒に、掲載内容の研究に取り組んでいます。



1学期からの生徒・保護者・地域の皆さんに信頼されるためのアプローチ

8/23 実施

①校区小学校のプログラミング教育の実施に向けて

校区の小学校の先生方 50 名に参加していただいて、TJ3B ロボットを使ったプログラミングの研修会を実施しました。先生 2 ~ 3 名がペアになり、思考を働かせながら、一生懸命 プログラミングに取り組んでいました。小学校でもこのロボットを活用して授業をしてください。



【研修を受けた小学校の先生からの感想】

今後このような力が必要になるのかと実感しました。何度も繰り返し試していく中で、ペアとのコミュニケーションが増え、「考える」と言うことも自然にできたように思います。プログラミングはとても難しいものだと感じていましたが、これならできると思います。

②「真住祭り」を実施 (PTA 実行委員会・地域連合町会主催) 9/1 実施



小学校 5・6 年生の児童たちに、真住中学校のことを知り、安心して通ってもらうために、PTA 実行委員会と地域連合町会が中心となって実施しました。また、中学生からもボランティア募集し参加しています。

10 時～14 時の 4 時間でしたが、暑い中たくさん的小学生の参加がありました。また、仕事を任せられた本校生徒たちにとってもいい経験になりました。

③自己採点アプリ「タブレットドリル」で、放課後学習や家庭学習の環境を整備 8/26 開始



生徒一人ひとりに ID と パスワードを配布し、各家庭の PC 端末等でも利用でき、どこでも自主学習ができるように、環境を整備しています。

④タイの学校と Skype による遠隔授業の実施 12 月予定

8/6 に 2 年生の遠隔授業を企画してくれる生徒たちが集まり、タイの先生との打合せを Skype で行いました。遠い国タイとの距離が ICT で近くになり、どんな授業が可能になるのか楽しみです。



⑤ほめる機会 (ポジティブフィードバック) などにより、自己有用感の向上をめざす 2 学期より

H31 年度の全国学力・学習状況調査の結果から、「自分の良いところ」「先生はよいところを認めてくれるか」「将来の夢や目標があるか」いわゆる「自己有用感」の向上が急務の課題です。

現在、学校安心ルールに基づいた生徒指導体制のもと、規律のある行事や授業が展開できています。教科の授業・学活・集会・行事などで、主体的にできるまで待つ指導や個別指導、生徒の良いところをほめる機会 (ポジティブフィードバック)を意識して増やすなど、保護者と連携し「生徒に向き合う人間関係づくり」を大切にすることで、自己有用感の向上をめざします。

大阪市立真住中学校

〒559-0013 大阪市住之江区御崎 2-2-32 TEL 06-6686-8495
真住中学校ホームページ
<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j722637>



ラグビーWC
日本代表決定
11 期卒業生
中山亮平選手